



第 298 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題： **生活習慣病におけるエネルギー代謝調節遺伝子群の転写調節機構の解明**

演者： **中川 嘉 先生**

筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻
診断生化学

日時：2009年 12月 15日 (火) 18:00-19:00

会場：医学系学系棟 4階大会議室 4 B 4 8 2

要旨：生活習慣病の発症には栄養代謝に関わる遺伝子群の発現制御の破綻が大きく関わっていると考えられている。生活習慣病に関与する栄養代謝関連遺伝子の発現制御を行う新たな転写因子を同定し、その機能の解析を行ってきた。生活習慣病の基盤となるインスリン抵抗性はインスリンシグナル調節因子であるIRS-2の発現制御異常が原因となる。このIRS-2の発現を制御する因子として新たにSREBP、TFE3を同定した。さらに、最近、新たに同定した転写因子CrebHが生活習慣病改善ホルモンFGF21の発現を上昇させ、生活習慣病を改善させる。これら転写因子の機能と生活習慣病との関連について紹介する。

本セミナーは、人間総合科学研究科生命システム医学専攻「医学セミナー」も兼ねており、単位の一環でもあります。

連絡先： 人間総合科学研究科 浦山 修 (内線 3432)

【筑波分子医学協会 (TSM) 主催】 HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSM セミナー担当 濱田理人